

絵本制作協力
サンドアーティスト

伊藤 花りん氏



サツタクロースは
どこにいる？



さく なかい れい



絵本制作協力
イラストレーター

なかい れい氏

「地域の絆創造」例会 志茂田氏とメンバーにより 絵本読み聞かせ

メンバー・市民に
多くの感動を
呼びました。



2013年5月18日 札幌新聞

さっぽろ 街をつむいで 第12部

札幌のマチや子供テーマ

青年会議所が絵本作り

8月完成控え 25日に読み聞かせ会

札幌青年会議所が、札幌のマチや子供たちを題材にした絵本作りをしている。8月完成予定だが、25日には市内で直木賞作家の志茂田景樹さんによる読み聞かせ会を開き、事前にストーリーをお披露目する。（片山由紀）

朗読は志茂田景樹さんら

同会議所が今年から始め、ちびサンタはいるの？、わんぱく、熊とロシエ、おおかみーは北沢のふたりの二つ、子供たち、札幌の人々がレストラン、札幌への思いや人の、札幌の思い出を知ってもらおうと企画した。

絵本は「おおかみー」のま、ドラフト作家志茂田景樹さんら

さんか神絵を描く。この「おおかみー」は男の子がサンタを模してマチを歩き、人々の暮らしに接する。市内在住のイラストレーター中井令子さんが文章も神絵も手がける。

いずれも完成後、8月に2冊セットで400部制作し、市内の図書館や児童会館に寄贈する予定だ。

25日午後1時から中央区北4西1の共済ホールで読み聞かせ会は、

全国で読み聞かせ活動をしている志茂田さんと同会議所会員が絵本の文章を朗読し、神絵をスライドで紹介する。同会議所地域の神楽舞踊会（佐々木和也代表）は「いずれも面白い作品。ぜひ親子連れで聞きに来てほしい」と話している。

定員386人で先着順。無料。申し込み、問い合わせは同会議所事務局011-836-0001か、ホームページhttp://www.sapporo-youth.jp/で

さっぽろ 街をつむいで 第13部

子育て支え18年 ■地域に活動浸透

「麻生 ASABU」

「麻生」は、さっぽろの女性たち、母親たちなを育てるための場所。麻生は、さっぽろの女性たち、母親たちなを育てるための場所。麻生は、さっぽろの女性たち、母親たちなを育てるための場所。

絵本になったカフェ

子育て支え18年 ■地域に活動浸透

「麻生 ASABU」は、さっぽろの女性たち、母親たちなを育てるための場所。麻生は、さっぽろの女性たち、母親たちなを育てるための場所。麻生は、さっぽろの女性たち、母親たちなを育てるための場所。

子育て支え18年 ■地域に活動浸透

「麻生 ASABU」は、さっぽろの女性たち、母親たちなを育てるための場所。麻生は、さっぽろの女性たち、母親たちなを育てるための場所。麻生は、さっぽろの女性たち、母親たちなを育てるための場所。

地元紙 北海道新聞に
5月例会・絵本読み聞かせ運動が掲載されました。



市民共同制作絵本を、
図書館、児童施設
計98ヶ所へ
寄贈しました。

絵本寄贈後、
市内児童3施設にて
絵本読み聞かせ会を
行ないました。



絵本読み聞かせ会の様子

市内3施設
200名近くのお子様
に読み聞かせを行いました。



また、絵本を寄贈したことで、
2013年度以降も
郷土愛や、絆の重要性に
ついて考えていただく
機会を提供できました。

